



初出品で人気を集めた南相馬市のたこ焼き

「モビードック」 復興グルメ優勝

石巻・鮎川浜

東日本大震災の被災地の仮設商店街などが創作料理を競う「第3回復興グルメF-1大会」が21日、石巻市鮎川浜の仮設商店街「おしかのれん街」で開かれた。岩手、宮城、福島3県の計12団体がブースを設け、郷土色豊かな料理を1品300円で提供。家族連れなど3000人近くが訪れ、食べ比べを楽しんだ。

来場者の投票で決まるグランプリは、のれん街の「おしかモビードック」が輝いた。クジラの竜田揚げと野菜をパンに挟んだ。初めて参加した南相馬市のかしま復幸商店街は地元産のツブ貝やネギなどを使った「りゅうぼう蛸(たこ)焼」を出品。多くの来場者が列をつくり、2位に食い込んだ。

グランプリは3回連続で開催地が受賞。のれん街店主代表の石森政成さん(51)は「優勝できてホッとした。多くのお客さんが来てくれ、商店街の知名度アップにもつながった」と喜んだ。

次回大会は10月で、開催地は未定。